

決算説明資料

(2015年12月期 決算)

2016年2月5日
東証2部

オーナンバ株式会社

目次

ONAMBA CO.,LTD.

- I . 決算の概要(PL、BS、CF等)
- II . 2015年12月期のトピックス
- III . 2016年12月期の経営戦略
- IV . 2016年12月期の業績予想

当社は、2014年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、当連結会計年度につきましては、当社、国内子会社及び海外子会社ともに、2015年1月1日から2015年12月31日までの期間について記載しております。

なお、当連結対象期間と同一の期間に調整した数値を前年同一期間(2014年1月1日から2014年12月31日)とし、増減につきましては、「前年同一期間」との比較で記載しております。

3

I. 決算の概要

ONAMBA CO.,LTD.

連結損益

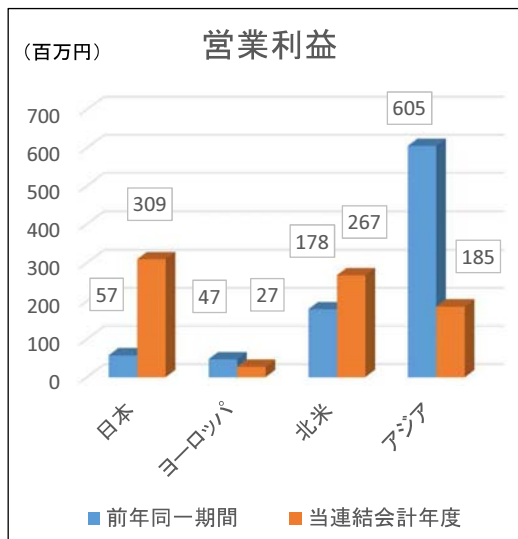
(単位:百万円)

科目	前年同一期間		当連結会計年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	42,436	100.0%	40,937	100.0%	△1,499	△3.5%
売上原価	35,573	83.8%	34,408	84.1%	△1,165	△3.3%
販売費・一般管理費	5,885	13.9%	5,751	14.0%	△134	△2.3%
営業利益	976	2.3%	777	1.9%	△199	△20.4%
営業外収支	151	0.4%	4	0.0%	△147	△96.9%
経常利益	1,128	2.7%	782	1.9%	△346	△30.6%
当期純利益	666	1.6%	355	0.9%	△311	△46.7%

《売上高》 ワイヤーハーネス及びハーネス加工用機械・部品の売上は増加したが、太陽光発電関連製品の売上減少が大きく影響し、前年同一期間を下回った。

《営業利益》 太陽光発電関連製品の売上減少や、円安の定着による製品輸入価格の上昇などの要因により、前年同一期間を下回った。

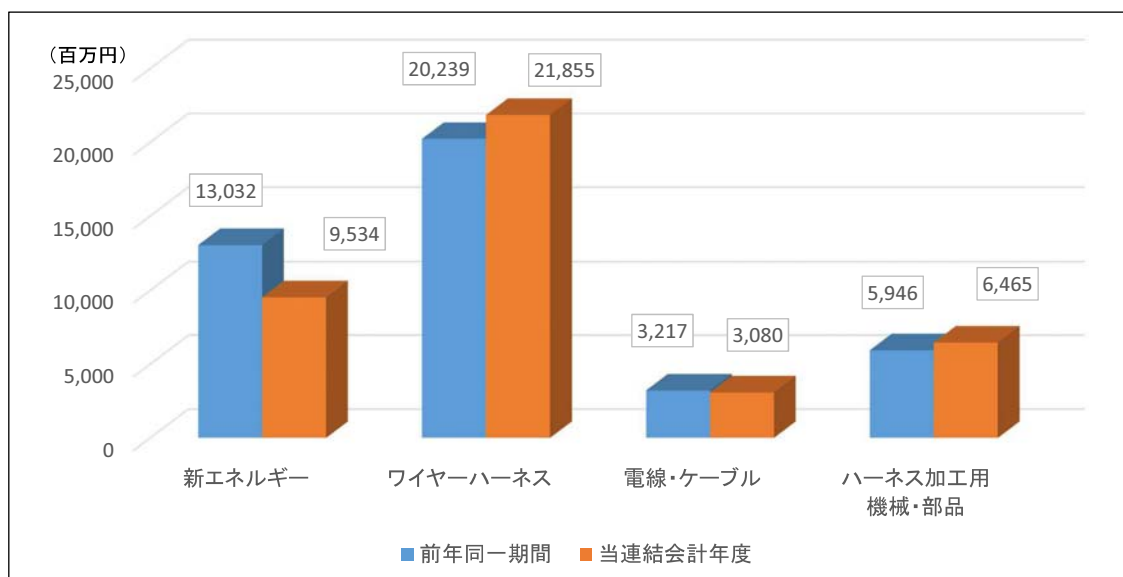
4



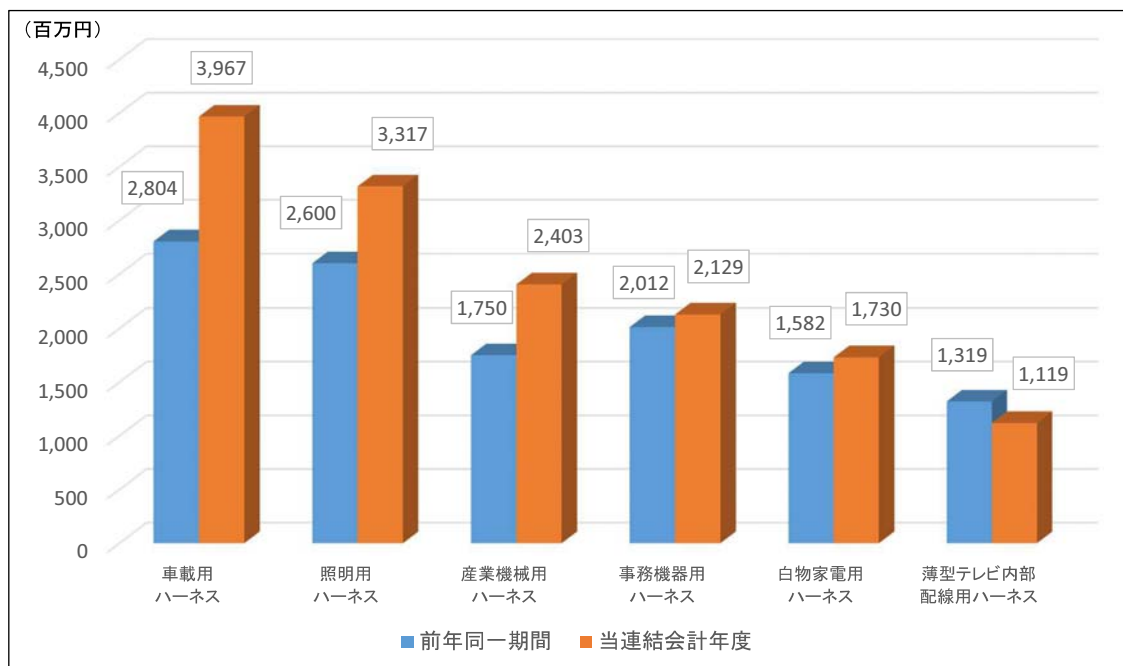
《売上高》 北米は、主に車載用・照明用ワイヤーハーネスの売上が増加した。
その他の地域は、主に太陽光発電関連製品の売上が減少した。

《営業利益》 日本は、ハーネス加工用機械・部品の総原価低減により、営業利益は増加した。
アジアは、太陽光発電関連製品の生産・販売の減少により、営業利益は減少した。

製品別売上高



ワイヤーハーネスとハーネス加工用機械・部品は増加したが、新エネルギーの太陽光発電用ジャンクションボックス(PVU)とPVケーブルの売上が減少した。



ワイヤーハーネスの売上は、車載用ハーネス、照明用ハーネス、産業機械用ハーネスを主体に拡販の取組をしたことにより増加した。

7

設備投資、人員

◆設備投資

有形固定資産取得額	622百万円
減価償却費	907百万円
(主な投資内訳)	
国内子会社の電線製造設備	112百万円

◆人員の推移

(人)		
2014年12月末	2015年12月末	増 減
5,191	5,340	+149

(増減理由)

中国子会社の新規連結などの影響により増加した。

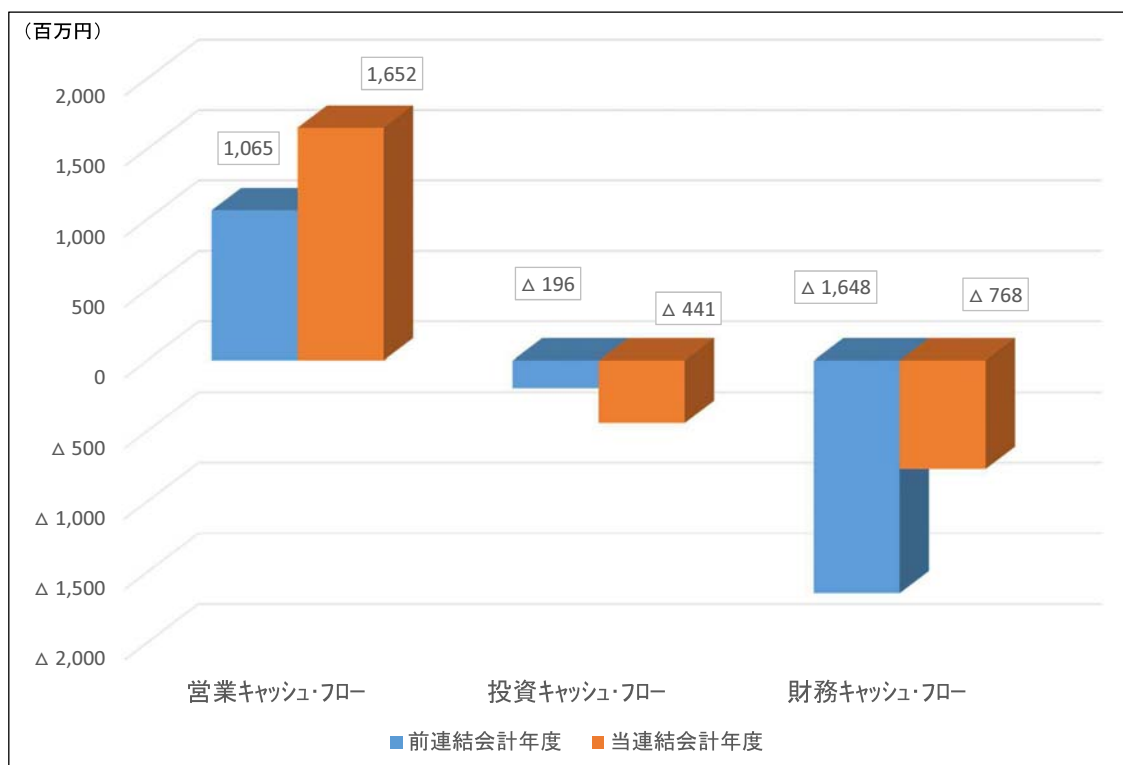
8

(単位:百万円)

科目	2014年12月末		2015年12月末		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	25,368	73.9%	24,510	74.3%	△858
（現金及び預金）	5,315	15.5%	5,807	17.6%	492
（売掛債権）	12,870	37.5%	11,661	35.4%	△1,208
（棚卸資産）	6,385	18.6%	6,280	19.1%	△104
固定資産	8,944	26.1%	8,457	25.7%	△487
（有形固定資産）	6,003	17.5%	6,106	18.5%	103
資産合計	34,313	100.0%	32,967	100.0%	△1,346
負債	17,898	52.2%	16,657	50.5%	△1,241
（買掛債務）	7,896	23.0%	6,685	20.3%	△1,210
（有利子負債）	7,500	22.0%	7,543	22.9%	44
純資産	16,414	47.8%	16,310	49.5%	△104
負債・純資産合計	34,313	100.0%	32,967	100.0%	△1,346

債権債務の減少により総資産は減少した。利益剰余金は増加するも為替換算調整勘定等が減少した結果、自己資本比率は46.3%から47.8%に上昇した。

キャッシュ・フローの状況



1. 新製品の開発・販売は計画を上回る(実績:61億円)
主な内容としては、新エネルギー関連製品10億円、
照明用ハーネス20億円、車載用ハーネス5億円など。
2. 事業領域の拡大
 - ・車載機構部品モジュール
 - ・発電監視システムから出力制御システムへの展開
MATAS(メンテナンス・タイミング・アシストシステム)の開発上市
九州電力殿の出力制御実証実験が完了
3. 生産拠点の再編推進

11

1. 事業拡大に向けた取組強化
 - ・新製品開発・新規開拓の推進
2. グローバル事業改革
 - ・グローバルでの営業強化
 - ・生産拠点の見直しと再編
3. ものづくり力の強化
 - ・ワイヤーハーネス生産革新

12

IV. 2016年度の業績予想

ONAMBA CO.,LTD.

(単位:百万円)

	2015年12月期	2016年12月期	増減
売上高	40,937	42,000	1,063
営業利益	777	850	73
経常利益	782	850	68
当期純利益	355	360	5

製品別売上予想

(単位:百万円)

項目	2015年12月期	2016年12月期	増減
新エネルギー	9,534	8,800	△734
ワイヤーハーネス	21,855	22,550	695
電線・ケーブル	3,080	3,150	70
ハーネス加工用機械・部品	6,465	7,500	1,035
合計	40,937	42,000	1,063

13

本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。

14